

令和5年度 東京都医師会「医学生、研修医等をサポートするための会」
—近未来の東京の医療を考えよう—

日 時：令和5年11月18日（土）14：00～16：00

会 場：杏 林 大 学

医学部講義棟 A3 階 301 号室 ※WEB 配信あり

司 会：東京都医師会理事 市川 菊乃

1. 開会の辞（14：00） 東京都医師会会長 尾 崎 治 夫

2. 基調講演（14：05）

「近未来の東京の医療に希望はあるのか？」

東京都医師会会長 尾 崎 治 夫

■ 質疑応答（14：25）

3. シンポジウム（それぞれの立場から 近未来の東京の医療を考える）（14：30）
（各 20 分）

（1）令和の医学生が 45 歳まで働き続けるには

杏林大学医学部麻酔科学教室教授

萬 知 子

（2）少子化で産科医はいらなくなるか

杏林大学医学部産科婦人科学教室教授

谷 垣 伸 治

（3）外科医の未来は明るいか—早くなんとかしないと—

杏林大学医学部消化器・一般外科学教室教授

須 並 英 二

■ パネルディスカッション（15：30）（25分）

座長：富田 泰彦（杏林大学医学部附属病院総合研修センター教授）

4. 閉会の辞（15：55） 学校法人杏林学園 理事長 松 田 剛 明

共 催：公益社団法人 日本医師会／公益社団法人 東京都医師会

協 力：杏林大学／三鷹市医師会